



読解力向上への道標

令和4年2月22日発行
第7号
福島市教育委員会
教育研修課

研究校 野田小学校の取組

野田小学校では、研究主題「思考力・表現力を身に付けた子どもの育成」副主題を「読解力を意識した授業実践を通して」として研究を進めてきました。今年度は、研究の第1年次になります。

「読解力を意識した授業」とは、リーディングスキルの6つの視点を意識した授業のことです。国語科、社会科、算数科、理科の各教科において、リーディングスキルの視点を取り入れた授業を積み重ねてきました。

研究を進めるにあたり、6月に教職員全員がリーディングスキルテストを受検しました。リーディングスキルテストを教師自身が受検することで、授業にどのように取り入れていけばよいのか考えるよい機会となりました。また、リーディングスキルに関する全体研修を研究協力校である野田中学校と合同で開催しました。

本校では、今年度、以下の点を意識して各教科の授業に取り組みました。

係り受け解析

- 主語や述語を明確にして文章を読むことができるようにする。
- 文章を繰り返し読むことで文の構造を捉え、正確に理解できるようにする。
- 主語や述語を明確にして文章を書くことができるようにする。

照応解決

- 「それ」「これ」などの指示代名詞が示す言葉や内容を具体的に説明できるようにする。
- 指示代名詞が指す言葉を具体的な言葉に置き換えて音読させる。
- 省略された主語や目的語を補うことができるようにする。(教師の発問等)

同義文判定

- 自分と友達の意見や考え方が同じかどうかを考えさせる。
- 自分や友達の考えの共通点や相違点を考えさせる。
- 同義となるように言い換える同義文生成の活動を設定する。

推論

- なぜそうなるのかという理由を説明したり、既習事項(既習体験)等の根拠を明確にして表現したりできるようにする。
- 「はじめに」「次に」「最後には」「例えば」など、順序や接続を表す言葉を用いて自分の考えを表現できるようにする。

イメージ同定

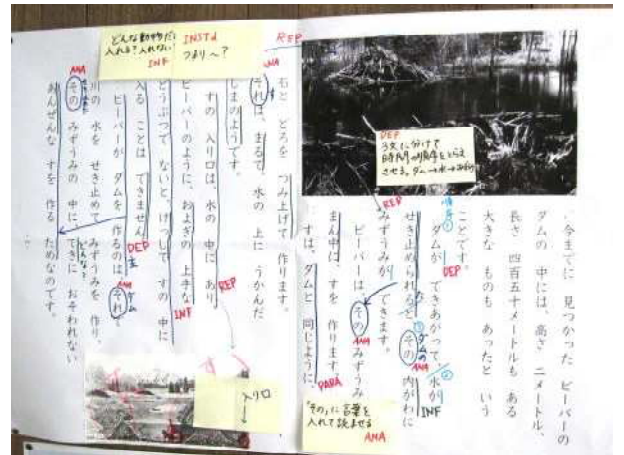
- 文章から読み取ったことを絵や図、表などを用いて整理させる。
- 図や表、グラフから読み取ったことを言葉や文章で表現する活動に取り組みさせる。
- 教科書に提示されている絵や図、表と教科書の本文を関連付けて考えさせる。

具体例同定

- 意味が分からない言葉は、辞書で調べる習慣を身に付けさせる。
- 言葉の定義や意味を正しくおさえた上で、考えたり話し合ったりする活動に取り組みさせる。
- 定義をもとに具体例を考える具体例生成の活動を設定する。
- 「きちんと」「ちゃんと」「工夫して」等のあいまいな表現ではなく、意図や目的を明確にして言語化させ具体的に表現させる。

教科書を読み解く研修

全体研修では、各学年ごとに教科書分析を行いました。子どもにとって親密度の低い言葉を見極めたり、リーディングスキルをどのように授業に取り入れたりすることができるか、研修を進めてきました。まず、教科書の本文や図表などを読み、子どもにとって親密度の低い言葉、本時のねらいを達成するために必ず理解させたい言葉などを明らかにしました。次に、リーディングスキルのどの視点を授業に活用できるか協議しました。教科書を読み解く研修を行うことで、リーディングスキルを活用してどのように本時のねらいにせまるのかという視点で日々の授業を組み立てていくことを共有することができました。



(教師による教科書分析)

6つの視点を意識した授業 5年社会科「自動車をつくる工業」

本時のねらいを「自動車の普及率や生産台数の変化、自動車づくりの中心となっている土地に着目して、自動車生産に関する問いを見出すことができる」としました。

本時では、イメージ同定、推論、具体例同定のリーディングスキルに着目して授業を進めました。

1 イメージ同定

自動車の移り変わりの写真から読み取れることを言語化できるようにする。

2 推論

豊田市周辺の自動車工場や関連工場の分布図から分かったことをこれまでの自分の学びや生活経験、教科書本文と結び付けてまとめていくことができるようにする。

3 具体例同定

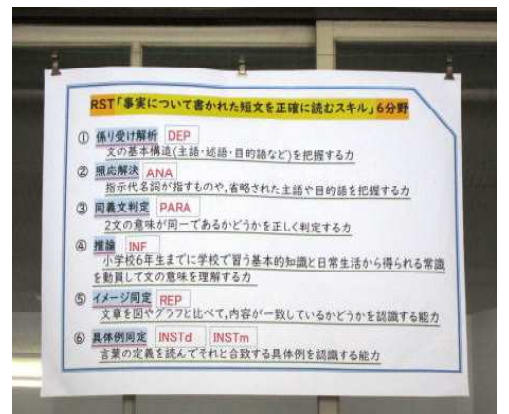
自動車普及率などの子どもにとって親密度の低い言葉を辞書で調べたのち、もう一度教科書の文章を読み、社会的事象を正確に理解できるようにする。



今年度の研究を通して

今年度の研究から次のようなことが明らかになりました。

- ①リーディングスキルの6つの視点を意識した授業を実践することで、子どもが言葉にこだわって文章を読み、思考したり表現したりすることにつながる
- ②文章や絵図、グラフを正確に読み取ろうとする子どもの意識が高まる
- ③本校におけるリーディングスキルの6つの視点を教師がどのように捉えるか、さらに明確にする必要がある
- ④本時のねらいを達成するために必要なリーディングスキルを精選して授業を行う
- ⑤教科の特質に応じてリーディングスキルの視点を授業に位置付ける必要がある



(本校の職員室の掲示から)

今後も職員一丸となって現職教育に取り組み、授業の質を向上させていきます。